# 写真で紹介する地元活動

## 地元の賑わいづくり

まちづくりするパン屋さんとして頑張っている上星川のバニヤンツリーベーカリーさんとくぬぎ台団地を繋ぎ訪問販売が実現！

## 相鉄東急直通線開通！

地域間の連携と発展、横浜へのインバウンド需要など多くの効果に期待。
交通ネットワークを地域経済の活性化に繋げていきたいと思います。

## 街頭活動展開中！

さまざまな政策課題、国会での取り組み、法案審査状況などを地元の皆さまに報告させていただきます。保土ケ谷区は森ひろたか市会議員・もちづき聖子県会議員と、旭区は大岩まさかず市会議員・須田こうへい県会議員と連携し、国・県・市一体となって活動を推進しています。
地元の声が活動の原点。ぜひお声がけください！

## 地元で神輿担ぎ

地元町内で四年ぶりの神輿渡御。地域の弥栄と安寧を祈願！私自身も神輿を担ぎ、験担ぎ！良い汗かきました。

## 第9回アフリカ開発会議（TICAD9）横浜誘致議員連盟副会長に就任

横浜誘致議員連盟を設立し総会を開催。副会長に就任し、松野官房長官、山田外務副大臣に要望書を手交。
横浜誘致を目指します！

# あおやぎ陽一郎インフォメーション

## 公式ラインはじめました

## 国会見学会随時開催

国内唯一の立法機関である国会議事堂は歴史的な建築物としても大変見応えがあります。
あおやぎ陽一郎やスタッフがご案内いたします。ご希望の方は事務所までお気軽にお問合せください。　お待ちしております！

SNSをフォローして「いいね！」お願いします！

## 神奈川6区 自治体議員紹介

**プロフィール**

- 1969年8月29日生まれ（53歳）家族 妻一男一女
- 元国務大臣政策秘書　NPO法人役員　社団法人役員
- 横浜市立常盤台小学校　保土ケ谷中学校卒業
- 日本大学高校　日本大学法学部卒業
- 早稲田大学大学院公共経営研究科修了
- 衆議院議員４期　党神奈川６区（保土ケ谷区・旭区）総支部長
- 党神奈川県連代表
- 衆議院内閣委員会筆頭理事
- 認定NPO法人 ICA文化事業協会会長
- ベトナムフェスティバル共同委員長　チャイナフェスティバル事務総長


メールでのお問い合わせ
info@aoyagy.net

**あおやぎ陽一郎事務所**

**国会事務所**
〒100-8982 東京都 千代田区 永田町 2-1-2
衆議院第２議員会館１０１３号室
TEL:03-3508-7245　FAX:03-3508-3515

**横浜事務所**
〒240-0003 神奈川県 横浜市 保土ケ谷区 天王町 1-9-5
第７瀬戸ビル 1F
TEL:045-334-4110　FAX:045-334-4113



立憲民主党
衆議院
神奈川6区総支部
機関誌
032号


# 立憲民主党

衆議院議員４期
あおやぎ陽一郎
新しい改革で
あらゆる世代の
幸せをつくる

HP/SNS

**コンテンツ**

- ごあいさつ
- 国会活動報告
- 国際交流活動を積極展開！
- 写真で紹介する地元活動
- あおやぎ陽一郎インフォメーション

衆議院議員
立憲民主党 衆議院
神奈川６区総支部長
（保土ケ谷区・旭区）

# あおやぎ 陽一郎（よういちろう）

## □ごあいさつ

みなさん、こんにちは。青柳陽一郎です。
政治とは、地域、社会、国、そしてそれぞれの人生をより豊かにし、「あらゆる世代の幸せをつくる」運動、それが私の考えです。
「あらゆる世代の幸せをつくる」政策はそのためにあります。
いま、地元を歩くと、さまざまな声が届きます。
「物価高で生活が苦しくなった」「将来に希望が持てない」「老後が不安」「子育てが大変」
どれも切実な声です。
そして、これらの声は私の地元だけではなく、日本中で聞かれるものです。
この声の背景には現在日本社会が抱えている問題が潜んでいて、単なる愚痴や不満ではないとわかります。
生活が苦しいのは、給料が上がらず物価が上がっているから。将来に希望が持てないのは、大学を卒業しても奨学金という借金があり、なおかつ正規雇用されるかどうか、親の介護も必要になるかもしれない。老後は、わずかな年金でくらせるのか。子育てが大変なのは安心して子どもを預ける先が見つからず教育費も心配、、、
こうした社会問題の多くは、これまでの自民党政治が放置してきたもので、これは政治が解決しなければならない課題です。
「人づくり、居場所づくり」の視点が欠けているのです。
政治はこうした問題に正面から向きあっていかなければならない、これは時代の要請です。
しかし、岸田政権は改革なき増税路線で、賃金と所得が上がる経済への転換が見えません。少子化対策予算は圧倒的に不足しているのに予備費は大きく積み増されるなど、国民ニーズに応えていません。
この１０年の自民党政治で日本経済は長期低迷が続き、一人当たりGDPは先進国で最低水準になり、少子化は一段と進み、出生率は1.3を切り、年間に生まれる子どもは78万人を割り込みました。
国民負担率は今や５０％弱。にもかかわらず子育て、教育予算は先進国最低ランク。
いま、本気で政策と予算を見直さなければ、この国の再生はありません。
しかし残念ながら岸田政権には本気度が見えません。
私の議員活動も四期11年目に入り、さまざまな政策と法律を立案し、時の政権を厳しくチェックしてきましたが、国民の暮らしを良くすること、幸せを増やしていくことはまだ道半ばです。
「政治には期待できない」「どうせなにも変わらない」　よく耳にする、痛い言葉です。
特にこの１０年の政治は、国民の理解を得る努力や説明責任を果たす姿勢が圧倒的に欠如していると言わざるを得ない。これはもちろん与党の責任ですが、私たち野党の力不足も認めなければなりません。
それでもあきらめずに訴えます。
それは、「政治」が変われば「政策」が変わる、「政策」が変われば「社会」が変わり「生活」が変わる、からです。いま一度政治の力に期待してください。
そして何より政治を変えることができるのは国民の声、みなさんの一票です。
政権交代可能な強い野党をつくる、この先頭に立つ覚悟です。

## 「健康長寿・所得が上がる経済・子育てと教育への投資」で、あらゆる世代の幸せをつくる！

### 新しい改革で「あらゆる世代の幸せをつくる」

**○ 健康長寿社会をつくる！**
- 必要なときに必要な医療が受けられる安心の医療体制を構築
- 予防・医療・介護の壁をなくし健康で長生きできる医療体制を構築
- 「かかりつけ医」の役割やプライマリケアを医療の中心に位置付け

**○ 所得と賃金が上がる経済政策に転換する！**
- 株価優先、株主優先の経済政策から従業員、取引先、下請け、地域、環境を大切にする公益資本主義（適正な再分配）に転換
- 物価高、消費不況、格差と貧困解消のための時限的消費税減税
- 中小企業や地場産業の支援強化、価格転嫁できる仕組みを強化
- 最低賃金引き上げ、保育士・介護職員の確保充実のための処遇改善
- グリーン・エネルギー・デジタルの成長戦略強化とインパクト投資促進

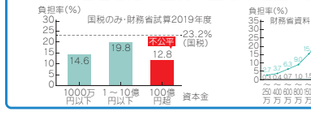
**○ 教育と子育てへの徹底投資を実現する！**
- 将来世代委員会を設置し、環境、財政、教育分野の具体策を提言
- 子育て世帯、ひとり親世帯への支援拡充、児童の安全確保、教育の質向上
- 研究開発への支援強化、イノベーションを生み出す科学技術に積極投資、
- 教員の働く環境の改善と人材確保策の推進

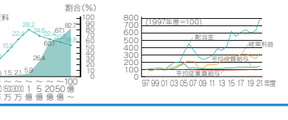
### 対立軸を示し、必要な政策を提案する

**立憲民主党と自民党の対立軸**

| 立憲民主党 | ↔ | 自民党 |
|---|---|---|
| 国民に寄り添う国民目線の政治 | ↔ | 上から目線の政治 |
| 働くもの・生活者の視点に立った政策 | ↔ | 大企業・株主中心の政策 |
| 公平公正な政治機能する行政 | ↔ | 特定の人のための政治・忖度させる行政 |
| 女性活躍ジェンダー平等 | ↔ | 古い体質・古い体制 |
| 外交中心の現実的な安全保障政策 | ↔ | 防衛増税・歯止めなき自衛権の拡充 |
| 原発に頼らないエネルギー政策 | ↔ | 原発回帰・原発中心のエネルギー政策 |

**○ 不公平税制の抜本改革で財源を生み出し、子育て教育、医療・介護へ投資する。**
- 超大企業に応分の負担を求める法人税改革（ミニマム課税・累進税率導入）
- 超高所得者に応分の負担を求める所得税改革（高額所得者への累進強化）
- 行き過ぎた株主資本主義の是正、格差と貧困の解消



# 国会活動報告

## 内閣委員会筆頭理事として重要法案を審議

### ①新型インフルエンザ特別措置法改正

2023年3月30日　衆議院内閣委員会
新型インフルエンザ特別措置法改正について岸田総理と質疑

新型コロナウイルスの感染とまん延により私たちの日常は奪われました。この間、政権はアベノマスクや一斉休校など専門家の意見を無視した科学的根拠のない政策を実行し混乱に拍車をかけました。我が国の医療提供体制の脆弱性が露見し、医療難民、自宅放置死という言葉まで生まれてしまいました。私は、エビデンスやデータ、専門家の知見を活かす司令塔機能強化が未知なるウイルス、有事対応において必要だと提案してきましたが、今般の政府改正案は、

1. これまでの政策と対策の検証が不十分
2. 感染症危機管理統括庁は、①専門性もなく②指示命令系統が不明で③コロナ室の看板掛け替えでしかない
3. 医療提供体制の改革が見えない

という結論に至りました。
コロナ対策予算はR3年度までで94兆円、不用額4兆円と指摘されています。
政権の財布代わりに使える巨額の予備費の積み増しを常態化させたことは財政民主主義への大いなる挑戦で、納税者の代表として厳しく問わなければならない問題です。
見せかけの改革ではなく、国民の命と暮らしを守る制度構築をこれからも提案していきます。

衆議院ネット中継です。
https://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php?ex=VL&deli_id=54476&media_type

### ②新法 孤独・孤立対策推進法制定

2023年4月26日
衆議院内閣委員会で孤独孤立対策推進法の参考人質疑・法案審査

日本は自殺者が多い国。
孤独孤立対策はあらゆる世代、あらゆる層にさまざまな影響を与える大きな課題です。この問題を正面から提起した意味と意義は大きいと思います。
誰にでも居場所があること、頼り頼られる存在がいること、この環境をつくっていくことを国と地域で連携し取り組んでいく。孤独孤立対策推進法を今後しっかり運用し、誰ひとり取り残さない社会をつくり、自殺対策、少子化対策につなげてまいります。

参考人質疑では、24歳でNPO法人あなたのいばしょ理事長の大空幸星さんと議論。
法案審査では小倉大臣と議論し、法案を可決しました。

審査の内容は動画でご覧ください。
https://cdp-japan.jp/news/20230426_5974
https://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php?ex=VL&deli_id=54571&media_type

## 議員立法提出(児童手当所得制限撤廃法案)国家公務員の再就職予備的調査

### ①児童手当所得制限撤廃法案

2023年2月20日

内閣委員会の筆頭理事、党内閣部会長代理として「児童手当法改正案」を衆議院に提出。少子化が加速するなか児童手当の所得制限は撤廃し、さらに今後支給年齢の延長と支給額の増額を求めていきます。日本は予算に占める子育て支出割合が先進国で最低レベル。少子化の経済的要因を取り除き、子どもを産み育てやすい環境を社会でつくっていくことは急務です。必要な政策、法律を示していきます。

### ②国家公務員の再就職状況に関する予備的調査

2023年4月13日

国交省OBによる不当な人事介入が発生しました。政府与党は実態把握に消極的です。立憲民主党は悪しき天下りや、役所の権限を背景にした不当な人事介入は根絶すべきとの立場で、衆議院議長に国家公務員の再就職に関する予備的調査要請を行いました。内閣委員会に送付され調査します。

「予備的調査」とは、一定の国会議員の求めに応じ、国会活動に必要な情報を入手できる制度です。ここで得られた情報をベースにより深い国会審議を行います。

| ●議員立法の法案提出について | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | ■提出法案名 | LGBT 理解増進法案 | SDGs 基本法案 | コロナ後遺症対策推進法案 | コロナワクチン健康被害救済法案 |
| | ■提出日 | 5 月 18 日（木） | 6 月 13 日（火） | 6 月 14 日（水） | 6 月 14 日（水） |

### ●科学技術・イノベーション議連開催について

議連名　：科学技術・イノベーション議員連盟　会長 青柳陽一郎
開催日時：6 月 13 日（火）
内容　　：開催 38 回目となる勉強会を開催。今回は講師として IT・モビリティ関連企業 2 社に登壇いただき、ヒアリングを行った。

# 国際交流活動を積極展開！

多層的重層的に人間関係を構築し世界の平和、日本の国益をつくっていく。
議員外交は、国会議員の重要な役割です。
あおやぎ陽一郎は議員外交に積極的に取り組んでいます。

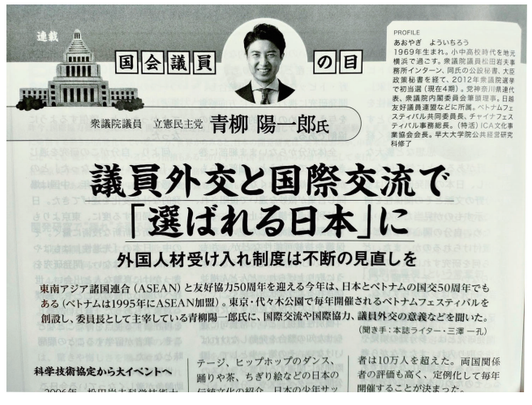
## 日越外交関係樹立50周年記念事業 ベトナムフェスティバル2023 を共同委員長として開催！

本年は日越外交関係樹立50周年をお祝いする記念の年です。
2008年に日越外交関係樹立35周年記念事業としてスタートし、2013年の40周年を経て今年15回目を迎えるベトナムフェスティバル。毎年10万人以上の来場者を迎え、日本国内最大規模の日越文化交流の祭典、両国民交流の場として定着しています。
これまで2008年に皇太子殿下に御行啓を賜り、2013年に秋篠宮殿下妃殿下の御臨席をいただきました。そして本年、佳子内親王殿下をお迎えし50周年に相応しい盛大なイベントになりました。
6月3日(土)4日(日)の2日間、ベトナムトップアーティストのパフォーマンス、過去最大140を超える出展ブースなど食・伝統芸能・音楽・観光など様々なベトナムを表現することができました。
ベトナムフェスティバルが、日本とベトナムの真のパートナーとして、人と人のつながりを生み出すことに役立っていると実感しています。会場に溢れた活気と笑顔は私たちにとって大きな喜びです。ベトナムフェスティバルを日越文化交流の象徴として、これからも続けてまいります。
シン カム オン!

## 認定NPO法人 ICA文化事業協会会長として途上国支援を実践

ICA文化事業協会(ICAジャパン)は、1980年より外務省やJICA、現地政府と協力して、世界の途上国を中心に、貧困消滅、自然環境保護、女性と子どものエンパワメントなどの事業を実施している国際NGOで、世界48か国に支部やメンバーがあり、地域の人々が主役となって、活力となる経済、生きがいのある生活、平和な地域を目指し活動を行っている歴史と実績、国際ネットワークのある団体です。SDG ‘sを実践する団体として重要性が増しています。
現在、私が会長を務め、コロナ後の新たな取り組みを進めています。
今後ICAの活動を持続可能なカタチにするために尽力してまいります。
国際活動、国際支援、ボランティア活動にご関心のある方、ぜひご連絡ください。
http://www. icajapan.org

希望の未来をつくる
ICA Japan

## 月刊誌「国際開発ジャーナル」に議員外交が掲載

あおやぎ陽一郎の議員外交の取り組みが月刊誌「国際開発ジャーナル」で紹介されました。
国際開発ジャーナルは、地球規模のさまざまな課題について提言を行う創刊50年以上の歴史ある日本で唯一の国際協力専門誌です。